

9520

極秘

武功調査

第十六戦隊戦時日記

自昭和十八年十月三十一日  
至昭和十八年十月三十一日

二月一日送付

7/10

第十六戦隊司令部

# 第十六戦隊戦時日記

第十六戦隊司令部

19.2.14

2920

- 目次
- 一 經過
  - 二 人員ノ現狀
  - 三 令達報告等
  - 四 參考
  - 五 作戰經過ノ概要

(目次終)

自昭和十八年十月三十一日  
至昭和十八年十月三十一日

第十戰隊戰時日誌

註  
過

(一) 敵情

(一) 情報ニ依ルバ「ゴロンボ」ニ英東亞艦隊 (重空母數隻、戰艦四隻、基幹) 在赤結シアルモノノ如シ

從來ノ印度方面輸送ノ大島島方面敵表襲ニ関テ我ガ西  
情況ニ今時

正面ニ來攻ノ算大ナリ

(二) 東印方面對スル敵飛行機ノ活動ハ依然トシテ相當頻繁ナルモ西方方面對スル敵空襲狀況ハ稍不活發ナリ

(別表第一參照)

(二) 友軍ノ狀況

(一) 上中旬間ハ敵表襲ノ兆顯著ナルモノアリテ各方面共特ニ

警戒ヲ嚴ニス

(二) 「アングマン」「ニコバル」方面ノ離島ニ対シテハ兵力ノ増強ヲ圖リツツアリ

(三) 西方方面航空兵六カハ隊ニテハ航空戦隊ノ充實ニ依リ漸次整備サレツツアリ

の) 作戦指導等ニ実施

(一) C・D作戦終成用意ニ対スル當部隊ノ行動等ニ北部馬來西方海面ノ泊地調査

八日ニシテC・D作戦警戒ヲ發令セラル本職(旗艦)北上第一八號ニ依リ當時リング作業地ニ泊中ノ足柄(旗艦)北上海面ニ於テ八日一五時ニ於テ船南ニ向航向地ヲ磨度十九號(敷波)ヲ合同急速出港準備ヲ完成ノ上十日。八。前記ノ諸艦ヲ率テ昭南發十一日。九五。彼南着南後彼南ニ在リテ待機ス(大井ハ陸兵輸送任務終了後彼南ニ於テ合同ノ旨指令)

十一日一三四味方哨戒機敵大部隊發見ノ報ニ接ス同日一四四ニC・D作戦用意ヲ發令セラル(敵大部隊發見ノ報ハ通信上ノ錯誤ナルト後刻判明ス)十二日。一。大井彼南着此処ニ於テ警戒部隊ハ内地修理中ノ鬼怒

ヲ除キ全部集結ヲ了セリ

十四日一八〇〇 砲電令作第廿七號ニ依リ警戒部隊（北上、大井、息怒  
久）ヲ率テ馬來島方面泊地調査、為彼南發大和泊地ヲアレスト  
泊地、美保灣ヲ終テ二十日彼南歸投ス。之ヨリ先 十五日  
一三四五 砲電令作第廿七號ヲ解カレタリ

(二) 陸兵輸送

左ニ依リ麾下ノ各艦ヲシテ印度洋南島ニ対シ陸軍部隊ノ急速  
輸送ニ任ゼレタリ

(1) 琺瑯 至七日 昭南コシダマン間 (砲電令作第廿七號)

清波ハ至五日間石坪磨ノ護衛ニ従事ス

(2) 大井 至八日 昭南コシダマン間 (砲電令作第廿七號)

(3) 北上、大井 至十日 昭南コシダマン間 (砲電令作第廿七號)

(4) 北上、大井 至十日 昭南コシダマン間 (砲電令作第廿七號)

(三) 訓練整備

の足柄ハ二十五日以後入渠敷波ハ五日迄入渠修理ニ従事ス

1920

1910-1920 26

(2) 鬼怒ハ内地ニ於テ修理中ノ処 二十六日 昭南着 合同ス 浦波ハ  
 二十三日以テ 航空部隊 雷爆撃 目標艦トシテ コスラバヤレニ方面ニ  
 派遣セリ

(3) 右ノ外 警戒部隊 各艦ハ 前述 各種任務 遂行ノ 傍ラ 極力 刻  
 練ヲ 実施セシメタリ



人員現狀

司令部職員官氏名

職	主務	官	氏名	記
司令官		少將	左近允 高正	
參謀首席		中佐	島内 百七世	
		少佐	小山田 正一	十月五日補任司令部附
		大尉	島森 孝一	十月五日補任司令部附
		通信員	堤 清	
司令部附	暗號	兵曹長	今野 喜七	十月七日補任司令部附
		大尉	山口 章	十月五日補任司令部附
		中尉	武藤 晴男	十月七日補任司令部附
		中尉	近藤 繁一	十月七日補任司令部附
		大尉	宇村 苦夫	十月五日補任司令部附
		中尉	永井 保榮	十月五日補任司令部附
		中尉	吉住 幸男	十月十五日補任司令部附
		大尉	谷井 徳光	十月五日補任司令部附



(四) 麾下艦船部隊總員數

所屬艦	士官	海下士官	兵	其	他	合計	記
足柄	二五	一八	四九七	八	九一〇		
北	二〇	二一	三三三	三	四五九		
大井	一八	二〇	二四七	三	四四七		
球磨	一七	二二	三〇二	四	四七九		
鬼怒	一四	一三	三七三	四	五五二		
敷波	一〇	九	一九五	〇	三〇六		
洞波	九	七	一三八	〇	二四九		
計	一一三	一二八	一九八五	二二	三、四〇二		

(三) 下士官兵其、他員數

兵糧	兵科	主計科	其、他	合計	記	事
員數	一四	五	三	二二	通譯、戰道班員一	

司令部附	大尉	藤田虎治郎	十一月五日、神島司令部附
	少佐	佐々木正也	十一月三日、大井艦隊長兼介隊長
			十一月五日、神島司令部附

三、令達報告等

(イ) 信號電報ノ部

別紙第一

(ロ) 書類ノ部

(一) 機密第六十六戰隊命令令第六四一號

別紙第二

(二) 機密部隊第二期刻分令(九)

(三) 同

右 第六四二號

別紙第三

(四) 機密第六十六戰隊司令部第六四一號

(一) 機密南西部隊司令部第六一號

別紙第四

(二) 北占大井田ニ警備待機ノ件

(一) 機密南西部隊司令部第六一三號

別紙第五

(二) 馬來半島西岸地区並ニ諸島嶼ニ於ケル水陸航空基地調査ノ件

(三) 同

右

第六一四號

別紙第六

(四) 月石泊地ノ調査ニ防衛計畫ノ件

(一) 機密第六十六戰隊命令令第六四八號

別紙第七

9940

口  
矢  
多  
キ  
テ  
シ

五、作戰經過ノ概要

昭和十八年十月

第十六戰隊

2920	四	三	二	一	日
昭南軍港					在所
二八六 西南西	二七〇 南々西	二六八 西	二七〇 南西	二九〇 南西	昭南
二八六 北々東	二七五 西南西	二八七 南	二九〇 南西	二九〇 南西	昭南
隊戰六十第隊艦面方西南					務任般一
減撃船艦敵) 隊部戒警隊部面方西南					務任別特
			從中 我若昭南出撃	第十六戰隊(足柄北上 大井十九駆(敷波)昭南 在リテ警戒備訓練ニ 從中	主西女行動
			敷波入渠中	瑛磨陸軍部隊ノ昭南 アシタマンノ間急速輸送 作戰ニ從中	主要作業記
					事

920

九	八	七	六	五
港軍南昭 二三四五 →	一五四五 ←	作業地 リンガ 一八〇〇 →	104-109E 1-15IN ←	一〇〇〇 ←

二 二六五 五五	二七、三 一〇	二七、七 一〇	二八、〇 二〇〇	二七、七 一〇
午晴 西南西 五五 東南東 三七、一 四	曇 西南西 四五	曇 西南西 四五	曇 北々東 四五	曇 北々西 四五

送輸兵陸速急ヲ以ヲ力兵部一壊破通交上海及

<p>大井陸軍部隊、昭南方面 ニヨル間急送輸送作 戦從事 戦時令作、八號ニ依リ 作業地ニ於テ、劉環ヲ取 止メ昭南ニ回航補給ヲ上 彼南ニ進出 理磨燃料補給</p>	<p>昭南方面 リンガ作業地發 昭南回航 二三四五 昭南着 大井一二〇 昭南發</p>	<p>昭南方面 昭南發 昭南回航 昭南着</p>	<p>昭南方面 昭南發 昭南回航 昭南着</p>	<p>昭南方面 昭南發 昭南回航 昭南着</p>
<p>出撃準備 燃料補給 （清水、糧食満載） 不用物件陸上</p>	<p>昭南方面 昭南發 昭南回航 昭南着</p>	<p>昭南方面 昭南發 昭南回航 昭南着</p>	<p>昭南方面 昭南發 昭南回航 昭南着</p>	<p>昭南方面 昭南發 昭南回航 昭南着</p>

6920

一五	一四	一三	一二	一一	一〇
150/200 8°-49.0N 96°-37.0E	一八〇	南	彼	九五	103-270E 1-12.84

半晴 西北西 二七・八 三・五 二〇	半晴 北々東 二六・七 一〇	半晴 西北西 二七・一 二〇	半晴 北々東 二六・四 二〇	半晴 北々東 二七・六 二〇	半晴 西北西 二七・八 二〇
半晴 西南西 二六・五 一〇	半晴 北々西 二八・五 一〇	半晴 東北東 二八・四 一〇	半晴 東北東 二七・六 一〇	半晴 北々東 三〇・五 一〇	半晴 北々西 二九・三 一〇

岸海方西部北來馬			大井彼南着	彼南着待機 （足柄北浜磨機（敷波浦波）九五）	大井「カーニバル」着 月「カーニバル」發
夜戦刻練	昼戦刻練 回避刻練 敵潜水艦攻撃等注意攻撃	対空戦斗敵機 敵潜水艦攻撃等注意攻撃	北上大井ハ彼南ニ在リ發着 待機ハ座方ヲ魚雷機ニ調整 察整備ニ從事ス	大井急送輸送作戦終了 彼南ニ取着合同待機	柳電今作中一八號着リ 出撃ヲ為一時間待機 球磨燃料柄給
					柳電今作中一八號着リ 彼南出撃待機

0220

二二	二〇	一九	一八	一七	一六
南	彼	190 1200 102-16.34 97-33.0E	190 1200 102-16-33.34 97-18.5E	172-25N 97-26.6E	大和泊地 070.0

二八〇 二七〇	二八〇 二七〇	二七〇 二七〇	二七〇 二七〇	二八〇 二七〇	二八〇 二七〇
南東 北東	南東 北東	南東 北東	南東 北東	南東 北東	南東 北東

要		要		要		要	
大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着
兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査
大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着
兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査
大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着
兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査
大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着
兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査
大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着
兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査
大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着	大和泊地着
兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査	兵要調査

1220

二七	二六	二五	二四	二三	二二
南			昭		一〇二
					22° 17.0'
					5°-26.0'N
					100°-10.0'E
→ ←					
二〇 二七 二五	二〇 二八 二九	二〇 二八 二九	二〇 二八 二九	二〇 二六 二五	二〇 二七 二五
南々西 南々西	北々東 南々西	北々東 南々西	北々東 南々西	北々東 南々西	北々東 南々西

				大井 一五三〇 彼南着 大井(足柄環磨所) 二四三昭南宣達着	昭南(足柄環磨所)一三二 昭南(昭南)彼南着 大井(カーゴバル)着 同
	鬼怒巡視		足柄環磨所入港	符谷登衛	鬼怒燃料補給 大井陸軍兵力が送虎了 符谷戦斗教練



三二	三〇	二九	二八
港		軍	
二〇 二九八 〇五 南々東 南々西	一〇 二八三 三三 南々西 南々東	二〇 二六五 三〇 南々西 南々東	二九二 三〇 一〇 南々東 南々西
北五大井 一九三五 ホートアレア着	北五大井 急遽輸送 作戦完了了	北五大井 昭南ホー トアレア 急遽輸送 作戦完了了	

別紙第一

令達報告等

<p>0740</p>	<p>球磨艦長 四日ニニ。</p>	<p>發日 元時</p>
<p>五日一七。 總艦船</p>	<p>六日。八。 IS司令官 IKF司令長官 IKF司令長官 1290司令官 二五軍參謀長 宮兵國參謀長</p>	<p>受日 宛〔通報〕時</p>
<p>最近昭南碇泊中ノA船六隻ノ原因不詳ノ爆發 ニヨリニ隻沈没、一隻大破三隻損傷ノ事件ヲ惹起 スル敵性分子ガ暗夜ニ乗ジ船側ニ吸着性時限 爆藥ヲ装置セル疑アルニ付港灣ノ警戒ハ勿論船 舶自体碇泊中ト雖モ一層見張ヲ嚴アラシムル様 注意アリ度</p>	<p>球磨機密第四ニニ。番電 一七四五「ポートブレアー」着揚陸完了 「ブラワン」行陸軍部隊搭載ニニ。發</p>	<p>令達報告等</p>
	<p>電 無</p>	<p>別種</p>



<p>六日一七一五 168司令官</p>	<p>六日一八二〇 168司令官</p>	<p>六日一九〇九 大海特務班長</p>
<p>六日二三三五 大井 艦長 9H 各司令官 大海一部長 9H 司令官 9H 各司令官</p>	<p>六日一八二〇 168</p>	<p>七日一七四〇 南西方面部隊 各司令官 各司令官 G 司令官 機動部隊 10/29/24 各司令官</p>
<p>168機密第・六二七五番電 大井ハ十月八日昭南發左ノ人員及物件ヲ「カーニ コバル」ニ輸送スベシ 陸兵約三四。荷物若干石輸送終了次第昭 南ニ歸投補給上「リンガ」作業地ニ回航スベシ</p>	<p>信令第一四五號 敷波ハ昭南ニ於テ轉輸羅針儀、修理完成上SK作 業地ニ回航スベシ</p>	<p>大海機密第・六一九〇番電 南西方面 印度洋方面九月分通信諜報綜 合 一北西蒙方面 印度洋方面 二印度洋方面 新航空基地、出現多ク九月中ニテ 數ヲ 三方位測定及西蒙方面出港情況、哨戒情況ヨ リ見テ九月十日頃 <i>Shanghai to 昭南</i> 九月</p>
<p>號 信</p>	<p>號 信</p>	<p>號 信</p>

二十日前後、グライウン、へ輸送船團入港セルモ  
ノ、如シ

ニ、印度洋方面

(1) 同方面ニ對スル輸送船ノ動ハ八月上旬迄發化シ  
中旬ヨリ極メテ閑散トナリ一應完了セル狀況ヲ  
示シタルモ九月中旬以降迄發化セリ對聯合國  
商船放送ニ出系ニ関シ印度洋方面船舶數下  
旬ハ夫夫上旬、三及ニ倍ニ達シ、尚方位測定  
及通信狀況ヨリ見テ「アデン」方面ヨリ來攻ノモ、相  
當タキガ如シ

(2) 敵、印度洋方面通信電波ヲ左通變更又ハ新設

(1) 九月五日從來「モシバザ」間「ボシバイ」間「接交」  
信系ヲ「コロンボ」放送通信ニ變更電波コ倍  
周波方式（米國方式）トス

(2) 同ジク南方印度洋間「接交」信系電波ヲ倍周  
波方式トス

(3) 九月初ヨリ「コロンボ」ト「STAND TOWN」ア  
レキ「サンドリア」間ニ於テ米國一般艦船系  
電波ニ依ル連絡ヲ開始ス

1110

<p>六日二〇四五 168 司令官</p>	<p>六日一九一五 168 司令官</p>	
<p>艦本部長 大海二部長 佐需部長 一需部長 兵備局長</p>	<p>六日一九一五 大井艦長 168</p>	
<p>168 機密第。六二。四五番電 當隊西部方面ニ於ケル作戰實施上是非必要ニ付補填用トシテ左記魚雷、彈藥及特殊油槽船一〇二軍需部（一部一〇二軍需部、バナン支部）ニ至急送付方配慮ヲ得度 尚目下一〇二軍需部ニ當隊補填ニ流用シ得ルモ</p>	<p>信令第一四七號 大井、當隊機密第。六二。四五番電ニ依ル兵刃輸送中魚雷全部ヲ陸揚スベシ 昭南販投、際ハ各聯管ニ本宛（教練發射用ヲ含ム）搭載スルモトス</p>	<p>印度東岸方面、哨戒ヲ嚴重化シ「マダガス」カルクソク等連日出現機ヲ見レ尚米航空部隊ハ九月中旬ヨリ Dec ヲ使用始メタリ 九月ニ入り印緬國境附近航空基地ニ出系飛行機激増「カルク」方面ニ出系スル數ヲ越ヘ「ビルマ」方面攻撃準備ヲ示唆シタリ 九月中、印濠連絡飛行四往復</p>
	<p>號 信</p>	

GH 司令長官  
七日〇七二〇

GH 各司令長官  
七日一〇〇〇

GH 各參謀長

GH 機密第〇七〇七二番電  
GH 電令作第〇四二號

始トナシ

一 魚雷 九三式 一〇本 九式 五本 八三式 三本  
六年式 三本

二 彈藥

二號子糧砲用 徹甲彈藥 一五〇發

同 零式通常彈 四〇發

同 照明彈 乙 六發

三年式十四種砲用被帽通常彈藥 二〇〇發

同 零式通常彈藥 一五〇發

同 照明彈 乙 一〇〇發

一三〇種高角砲用通常彈藥 一五〇發

二〇耗機銃(通 曳) 一〇〇〇發

一三耗機銃(同) 五〇〇〇發

三 特殊油槽船

警戒待機地點ニ秋區シ置キ所要ニ應ジ艦内重油唧筒ニテ搭載使用ス

電

無

6220

七日。八。二  
大井艦長

〔總長〕

七日。一。四五  
28st 司令官  
14st 司令官  
18st 司令官

二丙作戦第一法警戒  
二内南洋方面部隊ハ現作戦ヲ續行セヨ

大井機密第〇七。八。二番電

18st 機密第。五。九。四。二番電 閉聯

本艦左ニ依リ行動スルニ付對潛對空警戒ニ関シ可  
然取計ヲ得度

十月八日。一三。〇。ES 發

九日。一。〇。〇。一尋礁通過 針路 三三五度

速力 三四節

一八。〇。四度五三分北 九八度五三分東

十日。一三。〇。八度五四分北 九四度五一分東

針路 二七。度ニ變針

一八。〇。UY 着

十一日。〇。〇。〇。〇。UY 發

〇六。〇。九度三分北 九四度四分東

針路 一三五度 速力 二〇節

一八。〇。六度三分北 九七度四分東



0860

<p>七日一七三七 GH司令長官</p>	<p>七日一七〇六 GH司令長官</p>	<p>七日一三〇〇 球磨艦長</p>	
<p>七日二二〇〇 GH各司令長官 GH各司令官 總長 横鎮</p>	<p>七日二二二〇 GH 總大臣</p>	<p>七日一五三〇 16S司令官 GH/KF各司令長官 GH司令官 ブキチニギ メダニ 陸軍 2887 9007 各司令官</p>	
<p>GH機密第〇七三七番電 GH電令作第七四七號 一丙作戦第一法用意ヲ日ヲ十日トス ニ先遣部隊ハイ一六一三五イ一六九イ七一〇三七</p>	<p>GH機密第〇七三六番電 GH電令作第七四九號 十月十日一ニ以後又部隊艦船通信第二戰略 通信配備トナセ</p>	<p>球磨機密第〇七三〇番電 六日二四五輸送任務完了 七日二四五昭南着 ベニワン發</p>	<p>十二日〇六〇〇三度五分北九度五分東 一〇〇〇一尋礁通過</p>
		<p>電 無</p>	

1820

<p>八四二一五九 指 揮 官</p>	<p>七日 二一四六 中 堂 大 佐</p>	
<p>八日 一五〇〇 西 部 空 襲 部 隊 指 揮 官</p> <p>各司令官 各司令官</p>	<p>八日 一三一三 各司令官 各司令官 各司令官 司令官</p>	
<p>機密第一〇二五九番電 電令作第一六六號</p> <p>一、情報ニ依リ、コソボニ英東亞艦隊（重空母数隻） 戰艦（隻基幹）集結シ來週我西方正面ニ來攻ル</p>	<p>機密第一〇二四六番電 當地陸軍側、得タル通信謀報ニ依リ、サ將介石ハ 雲南西部ノ重慶軍ニ對シ十月末日迄ニ戰備ヲ 整フベキ旨指令セリト又陸軍側ノ謀者報ニ依リ、 印緬國境中央部ヨリ在印度支那軍侵入ノ兆候濃 厚ナリト當地陸軍側ニテ大規模反攻ハ十月初旬 以後「ビルマ」東西ヨリ行ハルベク印緬國境中央部 以北ハ支那軍ヲ主体トスルモナラント判断シタリ 反攻開始ノ時機ニ関シテハ「マウントバットン」ノ印度到 着ノ時機ガ注目ニ値スルモト認ム</p>	<p>所定配備 其他現作戰續行 三、第二基地航空部隊ハ陸攻成ルベク多数ヲ南 鳥島ニ進出セシムベシ</p>

<p>八日一六五。 16s 司令官</p>	<p>八日一二二。 GKH 司令長官</p>	
<p>八日一七一五 16s</p>	<p>八日一三五五 16s 各鎮艦隊 警司令長官 南方軍總司令官 三航空軍司令官</p>	<p>司令 司令長官 大海參二部長</p>
<p>信令作第一五。號 當隊南西方面部隊電令作第一八號リニ依リ 昭南ニ回航補給、上彼南ニ進出ス 各艦ハ昭南ニ於テ左記ニ依リ至急出撃準備 ヲ完成スベシ 一燃料、糧食満載</p>	<p>GKH 機密第一八二二。番電 GKH 電令作第一八號 C 作戦 D 作戦 警戒</p>	<p>算アリ ニ西部空襲部隊ハ十月十日以前速ニ「コロボ」及 既令偵察未済ノ「ツリンコマリ」「マドラス」ハ多少遅 延差支ナシヲ偵察スルト共ニ情況許サバ攻撃ヲ決 行スベシ</p>
<p>號</p>	<p>信</p>	<p>電 無</p>

<p>八日一三三六 G各司令長官</p>	<p>八日一三一四 G各司令長官</p>	<p>八日一四三二 168司令官</p>
<p>八日二〇三〇 G各司令長官 外南洋部隊 總鎮長官</p>	<p>八日二四四五 NSB 各鎮守司令長官 艦隊 大海參謀部 109司令</p>	<p>八日一四三二 168</p>
<p>G機密第一八三三六番電 G電令作第七五二號 一丙作戰第一法及警戒ヲ解ク 二東正面敵策動ノ算一ナリ警戒ヲ嚴ニセヨ</p>	<p>G機密第一八三三四番電 G電令作第八號ニ 一警戒部隊ヲ待機地點ヲ彼南トス 大井ハ豫定陸兵輸送ヲ實施スベシ 二東部空襲部隊指揮官ハ陸攻ニケ中隊戰鬥機ニ中隊ヲ率キ速ニバダンニ進出待機スベシ</p>	<p>至急出港用意ヲナセ 使用速クニ。節 二不要物件陸揚 三足柄ハ大井用魚雷(二十三本)搭載 當隊明後十日〇八〇出港豫定</p>
	<p>電 無</p>	

<p>八日一七二五 16S司令官</p>	<p>八日一六四五 16S 参謀</p>	<p>八日一七一 GH司令長官</p>
<p>八日一八三〇 GH司令長官 GH各司令長官 GH各司令官 9A0P 10A 238P 各司令官 9KJ 司令 教波 大井 球磨</p>	<p>八日一七四〇 二軍需部長 大井艦長</p>	<p>九日〇三〇〇 GH 各艦 警司令長官 大 總 長 臣</p>
<p>16S機密第〇八七五番電 當隊(大井、鬼怒丸)本八日昭南回航補給、上 十月十日〇八〇同地發、十日午前彼南着、豫定 但シ昭南ヨリ急送ヲ要スベキ人員物件有ラバ一 部ヲ以テ之ニ當ラシムル豫定</p>	<p>16S機密第〇八六四五番電 貴軍需部ニ預ケ入中ノ大井魚雷、明九日早 朝足柄ニ搭載スルニ付豫々手配ヲ得度</p>	<p>GH機密第〇八七二番電 GH電令作第〇七五六號 一 GH電令作第〇七四九號ヲ取止ム 二十日以後 GH艦船通信第五電波組織中 旗艦通信系ニ四七五五、五五五五(KC(タンヒ))ヲ一般通信 系ニ二〇三三(KC(レヨ))ヲ一時挿換 三 GH第三段作戦通信要領中東京通信隊 第二放送時刻ヲ兵備機密第〇四一五二五番電 (八月)(現行)ノ通トス</p>
		<p>電 無</p>

<p>八日一八。五 16S 司令官</p>	<p>八日一七五三 西部空襲部隊 指揮官</p>	<p>八日一七一五 16S 司令官</p>
<p>八日一八四〇 球磨艦長 敷波駆逐艦長 一。二。工。作。部。長 16S 司令官</p>	<p>八日二。四五 西部空襲部隊 G。各。司。令。長。官 G。各。司。令。官 H。司。令。長。官 大海一部長</p>	<p>八日一七一五 16S</p>
<p>16S 機密第〇八八。五番電 明後十日〇八。〇。出撃等シ得ル如ク左記準備ヲ完 成スベシ 一。燃料 糧食 満載</p>	<p>西部空襲部隊機密第。八七五三番電 二。三。三。航空隊ハ 一。飛行機ヲ概ネ左。如ク配備スルト共ニ警戒ヲ 嚴ニスベシ 「最ニスベシ」ニコバル艦攻六艦戦一箇中隊 「ボトブレア」艦攻六艦戦一箇中隊 「コララジャ」第一艦戦若干艦攻ノ残余 「サバン」艦戦ノ残余 陸攻全兵力 一。在「コララジャ」艦攻隊ノ一部ヲ以テ附近哨戒ヲ 專負施スベシ</p> <p>電</p>	<p>信令第二五二號 爾今第十六戰隊戰策草案ヲ使用シ昭和十七 年機密第十六戰隊法令第一九號別冊第十六 戰隊戰策ハ之ヲ發止ス</p> <p>號 信</p>

<p>八日二。五八 大井艦長</p>	<p>八日二八二七 軍令部三部長</p>	
<p>九日。一。〇〇 115 参謀 〔一。二軍需部長〕</p>	<p>九日。〇。八。〇〇 〔GK 各司令長官 GK 各司令長官 CSH 司令長官〕</p>	<p>〔一。二軍需部長〕</p>
<p>大井機密第。八。二。五八番電 一本艦豫定通行動揚陸終ニバ EQニ直行(十二日午前到着見込)ノ腹案ナリ 二第。二軍需部ニ課分室預入中ノ本艦暗號書(衣裏入五個)受取置カレ度</p>	<p>軍令部機密第。八。二。八。二。七番電 上海在勤武官機密第。〇。七。五。二。五番電 一在印度洋方面南阿方面ヲ含ム 英艦隊兵力ニ関スル當方判断左ノ通 戰艦四 空母二(内一不確實) 特空母四 巡洋艦(乙洋) 一五 二英海軍新就役艦(九月末頃就役ト推定)但シ所在不明 ライオン型 戰艦二 空母一 三在地中海方面 敵ノ航空母艦ハ只今迄ノ情報ニ依レバ今尚地中海ニ在ルモノノ如シ</p>	<p>二不要物件陸揚 三敷波ハ至急修理完了</p>
	<p>電</p>	<p>無</p>

2820

<p>16S 司令官</p>	<p>16S 司令官</p>	<p>16S 司令官</p>	<p>16S 司令官</p>
<p>16S 司令官</p>	<p>16S 司令官</p>	<p>16S 司令官</p>	<p>16S 司令官</p>
<p>於テ脅威投射(各艦ニ個)ヲ行ヒタル後第七</p>	<p>當隊(大井鬼怒久)十日。八。ES發ニ。一尋礁</p>	<p>大井ハ輸送任務終了次第彼南ニ回航スベシ</p>	<p>電波戰鬪管制 但ニ超短波警言戒管制</p>
<p>信</p>	<p></p>	<p>電 無</p>	<p>號 信</p>



<p>鬼怒艦長 二日一三五二</p>	<p>伊一號 潜水艦長 二日〇〇〇〇</p>	<p>16S司令官 二日〇九三五</p>	
<p>GH司令官 GH各司令長官 大臣總長 二日二四〇〇</p>	<p>伊三號 司令官 二日一二〇〇</p>	<p>16S 二〇九三五</p>	
<p>鬼怒機密第二一三五二番電 一、請試驗及全力確認運轉(約一時間)終了セルモ 主機械中間軸受漏油過大及電波探信儀性能 能使用不能、為修理ヲ要ス十四日完了、豫定</p>	<p>伊一機密第二〇〇番電 浮虜ノ言ニ依テ九月二十三日、COMM PADO = 左記碇泊シマリ 戰艦一 戰艦又ハ大型巡洋艦一 巡洋艦三 驅逐艦約一。隻 商船約一五隻</p>	<p>當地ニ於ケル警戒ニ関シ左ノ通定 一、第三配備別法 但シ十六節一時間待機トス 二、第四小隊ハ昭和十八年機密第十六戰隊命 令第四二號、ニ準ジ對潛警戒ヲ實施 スベシ</p>	<p>警戒航行序列(浦波六番艦ノ位置)ニ占位セ ヨ 號</p>
	<p>電 無</p>		

6820

<p>168 司令官</p> <p>二日一五〇七</p>	<p>15B 指揮官</p> <p>二日一四四二</p>	<p>908 司令官</p> <p>二日一四一〇</p>	
<p>GK IKF 各司令官長官</p> <p>大井艦長</p> <p>二日一六〇〇</p>	<p>15B 大海参一部長 大本營 南方軍司令官 第三航空軍 司令官</p> <p>二日一五三〇</p>	<p>15B 大海参一部長</p> <p>二日一四三〇</p>	<p>吳鎮長官 艦本總務部長 吳工廠長</p>
<p>168 機密第二二五〇七番電</p> <p>大井公至急彼南ニ來レ</p>	<p>南西方面部隊機密第二二四四二番電</p> <p>南西方面部隊電令作第二六八號 〇作戰 〇作戰用意</p>	<p>908 機密第二二四一〇番電</p> <p>一三四敵大部隊ノ概略位置「サバン」ニ五八度 七〇。理附近</p>	<p>三行動豫定</p> <p>十月十四日吳發ニ内海西部諸試験及訓練 十六日内海西部出撃十日馬公寄港補給 二十日昭南着</p>

0620

16S 二日二二一。 司令官	94 二日二三二。 司令部	16S 二日一五・五 司令官	16S 二日一五二。 司令官	16S 二日一三三。 司令官	16S 二日一三・五 司令官	
16S 二日二二一。	陸上一般 二日二三二。	16S 二日一五・五	16S 二日一五二。	16S 二日一三三。 需部 彼南支部長	16S 二日一三・五	936/94 司令官 各司令
但シ對潛警戒驅逐艦ヲ除ク 十六節二時間待機	特ニ警戒ヲ嚴ニセシメラレ度 彼南島ニ謀略團潜入、疑アリト、報マリ	十六節一時間待機トナセ	會敵ヲ豫期シ至急出動準備ヲ完成セヨ 但シ機関待機ハ「タナニ五」ト入	左ニ依リ燃料補給方手配ヲ得度 一敷波（一五ニ屯）浦波（一六ニ屯）、順成ルベク速ニ 二大井（約九。屯）明十二日入港後 三大井補給後残量マラバ球磨	十六節四時間待機トナセ 但シ對潛警戒中、驅逐艦ヲ除ク	
					倍 號	

1620

<p>一二日一二四五 16S 司令官</p>	<p>一二日一二四五 16S 司令官</p>	<p>一二日一二五。 伊三七艦長</p>
<p>10.20.09 91K 各參謀長 司令官</p>	<p>昭南 ブキチン 各陸軍 × 91K 各司令官 90B 12 08.51 各司令官 936 91K 各司令官 大海一部長 G 參謀長</p>	<p>一二日一二五。 88 司令官 11B 各司令官 G 各司令官 大海一部長 司令官</p>
<p>16S 機密第一三〇八四七番電 當隊今次彼南進出之際一尋礁附近帆船 漁船多ノ防諜並ニ敵謀略防止上衷心堪ガ</p>	<p>16S 機密第一三〇四七番電 大井、UYニ對スル陸軍輸送任務終了</p>	<p>伊三七機密第一三〇三番電 土日「デイエゴスアレス」偵察 巡洋艦、驅逐艦、油槽船、貨物船各一隻、驅潜艇 三隻在泊、周邊ニ敵ヲ見ズ</p>
		<p>電 無</p>

<p>一三四一八二〇 NSB 指挥官</p>	<p>一三四一六一〇 NSB 指挥官</p>	
<p>一三四一八二〇 (NSB 20 欠)</p>	<p>一三四二三〇〇 警戒部隊指挥官 3909 各司令官 NSB 各司令官</p>	
<p>指令第一五二號 明十四日左ニ依リ警戒戒出港ヲ行フ 一 出港時刻 一八〇〇 二 出港時、使用速力 一二節 三 出港順序 十九駆逐隊 足柄 球磨 四 出撃航行路 掃海水路 三番浮標ヨリ 針路ニセ。度 五 三番浮標通過後第七警戒戒航行序列</p>	<p>NSB 電令作第一七二號 警戒戒部隊指挥官ハ麾下適宜ノ兵カラ率干 便宜彼南發北部馬來西方海面ニ進出敵ノ來 攻ニ備ヘツ訓練並ニ(U)泊地及「バスチング」泊地 等ノ兵要調査ヲ實施十月二十日迄ニ彼南ニ 飯投スベシ右豫定ヲ報告スベシ</p>	<p>ルモノアリ速ニ一尋礁附近漁業ノ禁止及一般 船舶ノ交通管制ヲ行フ要アリト認ム</p>
<p>號</p>	<p>信</p>	

<p>一四日一八〇〇 16S 参謀長</p>	<p>一三日一八三七 16S 司令官</p>	<p>一三日一八一〇 16S 司令官</p>
<p>一五日〇九一〇 16S 司令官</p>	<p>一三日二〇五〇 16S 司令官 参謀長</p>	<p>一三日一八一〇 16S 足柄艦長</p>
<p>16S 機密第西二八〇番電 西方正面ニ至急進出ヲ要スル兵カニシテ目下ノモ、概ネ左ノ如ク香椎等ヲ以テ極力之ガ輸送ニ努メツシマルモ著シク遅延ノ虞アルニ付作戰上許シ</p>	<p>16S 機密第一三二八三七番電 當隊(足柄球磨第十九駆逐隊)南西方面部隊電令作第一七一號ニ依リ左ノ豫定ヲ以テ行動スルニ付十月十五日午前中當隊ニ對シ適宜雷爆撃訓練ヲ實施セラレ度 十月十五日〇七〇〇、位置北緯七度三分東經九七度二分 針路三三〇度 速力一八節</p>	<p>信令第五三號 足柄艦長ハ明十四日午後當隊出港時迄ニ左依リ搭載機ヲ以テ灣外對潛搜索ヲ實施スベシ 一、使用機數 艦長所定 二、搜索範圍 三番浮標ヲ中心トスル三〇哩圏内及當隊豫定航路上三番浮標ヨリ 八〇哩附近迄</p>
	<p>電 無</p>	<p>號 信</p>

十のり

得ルニ至ラバ第十六戦隊ノ協力ヲ得度キ處内  
意承知致度

一陸軍

ウ「ベラワン」ヨリ「アングマン」行約八〇〇

ロ「ベラワン」ヨリ「カーニヨバル」行約四二〇

イ「昭南」ヨリ「昭行」約五〇〇

ハ「派遣部隊用軍需品（糧秣、彈藥等）多量

ニ海軍

ホ「アングマン」行約七〇〇（<sup>1200</sup>補充兵力）

ニ「サバン」行約一〇〇（<sup>331</sup>要員）

右ノ中「杏樵」ニテ第二回（十月十八日頃「昭南」發）

ハ及「ハ」一部（約三〇名）ハ「第二回

ハ」輸送「ゴト」シ「第十六戦隊」ヲ以テ「ハ」大部及

「ロ」ノ輸送ヲ願ヘレバ「好都合」ハ「ハ」聖川丸「便乘」

尚「近ク」陸軍ニ「聯隊」野砲兵大隊（海軍）

衛所隊、防空隊、教習備隊等相次テ輸送ノ

豫定アリ

電

無

<p>一五〇一三四五 NSB 指揮官</p>	<p>一五〇二二〇 28st 司令官</p>	<p>一五〇一五二一 NSB 指揮官</p>
<p>一五〇一五〇〇 NSB 各艦隊 警司令長官 大本營 司令</p>	<p>一五〇二二二五 16S 司令官</p>	<p>一五〇一九四五 NSB 各司令長官 G4 司令長官 1009 司令 電信課長</p>
<p>16B 機密第一五三四五番電 NSB 電令作第一七三三號 C 作戦 D 作戦、警戒ヲ解ク</p>	<p>28st 機密第一五二二〇番電 哨戒、都合ニ依リ、實隊ニ對スル本日ノ雷爆穀手 訓練ヲ取止ム</p>	<p>16B 機密第一五二二三番電 16B 電令作第一七三三號 一、東部空襲部隊指揮官ハ、パダン、派遣兵力 ハ陸攻、一部ヲ除クヲ原配置ニ復取スベシ 二、東部空襲部隊指揮官ハ陸攻一ヶ中隊（六 程度）ヲ「パダン」ニ残置シ西部空襲部隊 指揮官、指揮下ニ入ラシムベシ</p>

12

無



<p>鬼怒艦長 一六日一〇〇〇</p>	<p>一五日二〇〇〇 艦司令長官</p>	
<p>一六日八二〇 大臣 總長 艦各司令長官</p>	<p>一五日二五一五 艦司令官 總長 大臣 艦各司令長官 一〇一工作部長 足柄 各艦長 球磨 各艦長</p>	
<p>鬼怒機密第一六一〇〇番電 右艦内軸 軸受燒損検査修理、爲 呉ニ 引返ス</p>	<p>艦機密第一五二〇〇番電 艦司令官ハ十月二十五日ヨリ 足柄 球磨ノ順序ニ 各艦約一週間ノ豫定ヲ以テ昭南ニ於テ入 渠修理ニ從事セシムベシ</p>	<p>西部空襲部隊指揮官ハ右兵カヲ以テ從來通 哨戒ヲ實施スベシ 三 西部空襲部隊ハ週一回程度「ヨコス」偵察ヲ 實施セヨ 四 敬言戒部隊ハ電令作第一七二號ニ依ル任務終 了次第昭南方面ニ直航訓練ニ從事スル ト共ニ足柄 球磨ノ入渠整備ヲ速ニ完 了スベシ</p> <p style="text-align: right;">電</p>

2620

<p>一六日一四二五 16S 司令官</p>	<p>一六日一〇一〇 16S 司令官</p>	
<p>一六日一四二五 16S</p>	<p>一六日一〇一〇 16S</p>	<p>16S 司令官 吳鎮長官 吳工廠長 16S 各司令官 一〇 港務部長</p>
<p>信令第二五五號 明十七日左ニ依リ敬言戒出港ヲ行フ 一、出港時刻。七〇。出港時ノ使用速力 一二節 二、出港順序 第十九驅逐隊 足柄 球磨 三、出撃航路ハ豫定航路トシ特令ヲ追單</p>	<p>當地ニ於ケル敬言戒ニ関シ左ノ通定△ 第三警言戒配備別法 但シ一〇十六節三。分間待機 一、晝間飛行機一機第一待機 二、哨戒艇ハ二二〇。〇。四〇。〇。艦發泊 地外周ヲ移動哨戒(一周)スルモノトス 四、第四小隊ハ司令所定ニ依リ探信儀ニ 配員對潛警言戒ニ任ズバシ</p>	
<p>〃</p>	<p>號 信</p>	<p>〃</p>

<p>一七日〇九二八 鬼怒艦長</p>	<p>一六日一九四二 GH司令長官</p>	
<p>一七日一七〇〇 IS司令官 GH司令長官 大臣總長 吳鎮長官 艦本總務部長 吳工麻長</p>	<p>一七日〇〇〇〇 GH司令長官 GH司令官 總長 橫鎮長官</p>	
<p>鬼怒機密第一〇九二八番電 鬼怒機密第一六一〇〇番電 関聯 十八日修理完成 十九日出港 二十日豊後水道 出撃ノ豫定 鬼怒機密第二二三五番電中、日附ヲ四日 繰下グ</p>	<p>GH機密第一六一九四二番電 GH電令作第七六七號 一丙作戦第五法警戒 二主力部隊、戦艦部隊、遊撃部隊、機動 部隊ハ十七日、トランク、發、アラウン、ニ回航 待機セヨ 三先遣部隊指揮官ハ成ルベク多数ノ潜水艦ヲ 下散開線ニ配備スズシ</p>	<p>縦陣開距離八〇〇米</p>
	<p>電</p>	<p>無</p>

6640

一七日一三八  
機密司令官

一七日一四五  
機密司令官

一七日一八一五  
機密司令官

一七日一七二〇  
機密司令官

機密司令官

機密第一七三二八番電

機密第二二八號

十六戰隊、二十八航空戰隊各司令官協議、上  
十六戰隊今次行動中左記聯合訓練ヲ實施ス  
ベシ

一參加兵力

十六戰隊 哨戒ニ差支ナキ範圍内ノ陸攻ナルベ  
ク多數

ニ訓練項目

(一) 高速目標ニ對スル雷撃法(擬龍)

(二) 索敵攻撃法

(三) 見張警戒法並ニ雷撃回避法

三十六戰隊ハ十九日頃「ルギー」方面發照南ニ  
回航ノ豫定

機密第一七四五番電

機密第二二九號

機密司令官ハ次回昭南方面在泊中一部ノ兵力ヲ以テ  
機密第二四八〇番電ノ陸軍兵力急速輸送

<p>一八日〇九三三 16S 司令官</p>	<p>一七日一七五〇 16S 司令官</p>	<p>一七日一七〇三 16S 司令官</p>	<p>16S 一七日一七〇三 16S 一七日一七五〇</p> <p>16S 司令長官 16S 司令長官 北井 各艦長</p>
<p>16S 機密第八〇九三番電 當隊(鬼怒丸)南西部隊電令作第一七三號 並ニ電令第二九號ニ依リ左ノ如ク行動 致度ニ付御認許ヲ得度 一、足柄球磨第十九駆逐隊ハ一旦EQニ入港出撃 準備ノ爲同地ニ陸揚中ノ物件搭載 二、足柄球磨十月二十日EQ發ESニ回航 三、浦波ハ右各艦ヲ一尋礁附近迄護衛シタル 後EQニ返投</p>	<p>信令第一五六號 明十八日信令第一五五號、要領ニ依リ警戒 出港ヲ行フ 祖シ出港時刻ヲ一〇〇〇トス</p>	<p>ニ協カスベシ 當地ニ於ケル警戒ニ関シテハ左ノ外昨日ニ同ジ 十六節一時間待機 但シ探信警戒中ノ駆逐艦ヲ除ク</p>	<p>電 無 〃 號 信</p>

<p>六日一。五 16S 司令官</p>	
<p>16S 司令官 16S 司令官 16S 司令官</p>	
<p>16S 機密第八一五番電 16S 電令第二八號 閣聯 當隊(足柄 球磨 十九 駆)左、豫定ヲ以テ行動ス ルニ付適時訓練ヲ實施スル度 十月十九日一〇〇〇「ヘイスチング」港發 同日 一三〇。位置北緯一〇度一六分 東經九七度 四〇分 針路一九〇度 速力一八節 但シ當日一六〇ヨリ一八ニ。迄ハ當隊畫戰訓練 實施中ニ付都合悪シ</p>	<p>四、本職北上大井及第十九驅逐隊ヲ率キ十月 二十四日EQ發訓練ヲ實施シツ「ベラン」ニ回 航 16S 機密第八一四八。番電ノ陸軍兵力輸 送ニ任ズ 五、右輸送任務終了セバ訓練ヲ實施シツ SA ニ寄港(驅逐艦補給)ノ上昭南ニ直航ス (備考) 右行動爲 EQニ於テ驅逐艦ニ對シ計約八五 〇屯補給ヲ要ス</p>

<p>18日 二二一 18B 指揮官</p>	<p>18日 二二五 18B 司令長官</p>
<p>18日 一八〇 18B 各鎮艦隊司令長官 大 南方軍總司令官 海</p>	<p>18日 一四一五 18B 司令官 18B 司令官 18B 司令官 北 大井各艦長 南方軍總司令官</p>
<p>18B 機密第二二二二番電 18B 電令作第二二四號 (南西方面部隊情況判断) 太平洋方面緊張ニ呼應シ印度洋方面敵反攻、容觀的情勢一段濃厚トナルモ飛行機潜水艦通信謀報ニ依ル當方面、敵情未ダ特異ノ點ヲ認メ、當隊ハ一層敵情偵知ニ努メ且情勢變化ニ對シ即應、能心勢ヲ持シツ北、際速ニ戦力、増進ニ努ムト共ニ西方離島ニ對スル陸軍兵力、急速輸送及主トシテ東正面ニ於ケル陸軍船団護衛ニ協力セントス</p>	<p>18B 機密第二二二五番電 18B 電令作第二二號 第十六戰隊司令官ハ電令第二二九號、外大井北上ノテ速ニ「ベラワン」ヨリ「ポートブレア」カニコバルヘ、陸兵輸送(約九〇名)ヲ實施セシム</p> <p>電 無</p>

0 8080

<p>一八日一七五九</p>	<p>一八日一三五五 16S司令官</p>	<p>一八日一三一五 16S司令官</p>
<p>一八日二〇四八</p>	<p>一八日一三五五 16S</p>	<p>一八日一九四〇 16S司令官 16S各司令官 10941, 10942, 10943 各司令官 10944 司令官 9327 司令官</p>
<p>16S機密第一八七五九番電</p>	<p>信令第一五八號 美保灣ニ於ケル警戒ニ関シ左ノ通定ム 一 第三配備別法 但シ足柄及球磨ハ日没時ヨリ日出時迄哨艇 一 隻(乙編制)ヲ夫々灣ノ北口(足柄)東口 (球磨)ニ配シ湾口哨戒ニ任ゼシムルモノトス 二 第十九駆逐隊司令ハ機密第十六戰隊命令 第四二號ト同要領ニ依リ麾下駆逐 艦ヲシテ泊地ノ對潛警戒ニ任ゼシムベシ</p>	<p>16S機密第一八三三五番電 十九駆逐隊ノ一艦ヲシテ十月二十五日ヨリ約十日間 「スラバヤ」方面ニ於ケル哨戒及警戒ノ雷爆撃 訓練ニ協力セシメラルル豫定</p>
<p>無</p>	<p>一 號</p>	<p>信</p>



<p>八日一九一五 16S 司令官</p>	<p>16S 参謀長</p>
<p>北上艦長 大井艦長 16S 司令官 16S 各長官 16S 各司令官 16S 各司令官 次長 次官 岡部隊司令部</p>	<p>16S 司令官 大井北上艦長 1200 司令官</p>
<p>16S 機密第一八一五番電 16S 電令作第四號 北及大井ハ準備出來次第「ブラワン」ニ回航 16S 電令作第二〇號ニ依ル「ブラワン」ヨリ「ポートブレ」 アル（北上）「カーニコバル」（大井）ハ陸兵ハ 輸送ニ從事スベシ ニ右任務終了セバ EQ ニ寄港 魚雷搭載上 ES ニ回航スベシ（魚雷陸揚セザル場合ハ ES ニ 直航 三各艦長ハ行動ヲ豫定シ速ニ報告スルト共ニ 関係各部ニ通報スベシ 四魚雷ハ成心可ク EQ ニ陸揚スルモノトス</p>	<p>16S 電令作第二〇號ニ依ル輸送人員ハ「ポートブレ」 行約四八。カーニコバル行約四三。携行物 件ハ概ネ前回同程度ト認ム 行動豫定 宮兵団（メダ） 富集団（ブキヤギ） 當方ニ通知ヲ得度 電</p>

0805

一九日一三五五	<p>一九日一一三七 北上艦長</p>	<p>一九日一〇〇 鬼怒艦長</p>
一九日二一〇〇	<p>一九日一九四五 GKH 司令長官 IS 司令官 9089 司令官 1012 司令官 9367 司令官 南方軍總司令官 ブキチニキ 陸軍 メダシ</p>	<p>一九日一三五〇 GKH 司令長官 IS 司令官 十通 東通 呉佐、高 通</p>
北上機密第一九一三五五番電	<p>北上機密第一九二三七番電 IS 電令作第四號ニ依ル北上大井行動豫定 左ノ通 二十日〇八〇 彼南發 同日一六〇〇「ベラワン」着 「北上」上日〇九〇〇「ベラワン」發 二十二日一九〇〇 「ポートブレア」着 揚陸終了次第出港 二十四日一〇〇〇 彼南着 二十六日一〇〇〇「ベラワン」發 二十二日一〇〇〇 「カーニコバル」着 揚陸終了次第出港 二十三日一七〇〇 彼南着 二十五日一〇〇〇 彼南發 二十六日一三〇〇 昭南着</p>	<p>鬼怒機密第一九一〇〇番電 鬼怒機密第一六二五番電 番電 關聯 鬼怒機密第一四〇九四番電 中日附ヲ四日宛 繰下グ</p>

9080

北上艦長

一九日一五四一  
GKH司令長官

16S 2887 各司令官  
936/ 331 各司令  
GKH 1KA 911 12  
各参謀

一九日一七〇〇  
GKH司令長官  
16S 10007 各司令官  
大井各艦長  
北上各艦長

本艦機密第一九二三七番電ニ依ル正午ノ位置左  
ノ通(位置、針路ノ順)

二十日 V四度五一分 E九九度三九分

針路ニ五度 二四節

二十日 V五度一分 E九八度三〇分

針路三三度 二四節

二十日 V〇度三六分 E九四度三七分

針路三三五度 二四節

二十三日 V九度五分 E九五度一六分

針路一四五度 二〇節

二十五日 V五度二六分 E一〇〇度三分

針路二二五度 二四節

二〇〇一尋礁ヲ通過

對空對潜警戒ニ関シ然ルベク配薦アリ度

GKH機密第一九一五四一番電

GKH電令作第二三號

GKH長官ハ10007ヲシテ北上大井、GKH電令作第二〇號

ニ依ル陸兵輸送行動中 EQニ揚陸セシ西艦

魚雷ノ保管ニ任ゼシムベシ

電

無

<p>一九日二〇一五 168司令官</p>	<p>一九日一八五。 GKH司令長官</p>	<p>一九日一八一。 168司令官</p>
<p>一九日二〇一五 168 足柄艦長</p>	<p>二〇日〇四〇。 SAB 指揮官 GKH司令長官 168 910112 各司令官 331/55 各司令官 北上大井各艦長</p>	<p>228f 司令官 GKH 参謀長 331/司令官</p>
<p>信令第一六〇號 足柄艦長ハ明二十日〇七四五搭載機ニ機ヲ 發進 當隊ノ對潛警戒ニ任ゼシメタル後 特令ニヨリ之ヲ彼南ニ先行セシムベシ</p>	<p>GKH機密第一九八五番電 GKH電令第一三三號 北上大井今次「ニコバル」グレア方面行 動中飛行機ヲ以テ特ニ嚴重ナル對潛對 空警戒ヲ要員施スベシ</p>	<p>168機密第一九八一番電 貴機密第一九五三番電返 當隊(足柄球磨十九駆)明二十日二〇〇。EQ入 港ノ豫定ニ付襲撃訓練ハ〇九三〇迄ニ要員 施サレ度(彼南港外)</p>
<p>號 信</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>

<p>SAB 指揮官 二〇日一八〇二</p>	<p>16S 司令官 二〇日一〇五〇</p>	<p>16S 司令官 二〇日一〇四五</p>	<p>16S 司令官 二〇日〇二二</p>
<p>SAB 司令官 二〇日二二二〇 16S 司令官 大井北上艦長</p>	<p>16S 司令官 二〇日一〇五〇</p>	<p>16S 司令官 二〇日一〇四五</p>	<p>16S 司令官 二〇日〇五二〇 北上大井艦長</p>
<p>SAB 機密第二〇八〇番電 SAB 信電令第一號 SA 陸攻隊ハ哨戒ニ支障ナキ範圍ニ於テ左ノ外 三三二空司令所定ニ依リ襲撃教練ヲ實施スベシ 一目標艦北上大井 二日時二上日一五〇頃 目標艦上空</p>	<p>彼南在泊中ノ警戒ニ関シ左ノ通定ハ 第四配備別法第二 但シ燈火敬言戒管制トス</p>	<p>前回當地出撃ノ際陸揚セル物件ハ今 明日中ニ之ヲ搭載スベシ</p>	<p>16S 機密第二〇二二番電 16S 電令第二五五號 16S 電令第三三號 關聯第九警戒備隊司令ハ北 上 大井ノ陸揚シタル魚雷ノ保管ニ任ズベシ</p>
<p>電 無</p>	<p>電 無</p>	<p>信 號</p>	<p>電 無</p>

6080

<p>二二日一〇三 GKH司令官</p>	<p>二二日一三〇〇 16S司令官</p>	<p>二二日二三〇 16S司令官</p>
<p>二二日一四五 16S司令官</p>	<p>二二日一三〇〇 16S</p>	<p>二二日一三〇〇 16S 三軍需部長 KH各參謀長 一〇港務部長 16S司令官</p>
<p>KH機密第三二一〇三番電 KH電令第三五號</p>	<p>信令第一六二號 明二二日左ニ依リ警戒出港ヲ行フ 一 出港時刻一〇〇〇(但シ第四小隊ハ〇九三〇) 出港時速力 一二節 二 出港順序 足柄、球磨ノ順 三 出撃航路 掃海水路 三番浮標通過後 針路 二四五度 第八警戒航行序列 四 第四小隊ハ足柄、球磨ニ番浮標通過 時迄掃海水路外、對潜掃蕩ヲ實施 スベシ</p>	<p>16S機密第二二三〇番電 當隊(足柄、球磨敷波、浦波)二十三日一二〇頃 實地着ノ豫定入港後敷波、浦波ノ順序ニ 各約四五〇屯並用燃料補給方(沖積)手配 ヲ得度</p>
<p>無</p>	<p>號</p>	<p>信 電 無</p>

0180

<p>二三〇日一一三五 GKH司令長官</p>	<p>二三〇日〇九〇五 168司令官</p>	<p>二二〇日二〇三〇 168司令官</p>	
<p>二三〇日二二三〇 GKH司令長官 GKH司令官</p>	<p>二三〇日〇九〇五 168</p>	<p>1949司令 GKH司令官 GKH司令官 GKH司令官 1049司令官 75379司令官 932司令官</p>	<p>23司令長官 23司令官 23司令官 1949司令官 75379司令官 932司令官</p>
<p>GKH機密第三三二二五番電 GKH電令第一三七號 一十月二十五日ヨリ約十日間「スラバヤ」方面ニ於テ</p>	<p>一敷波ハ〇九三〇ニ至ラバ令ナクテ列ヲ解キ昭南 軍港ニ先行JN回航準備ヲナセ 二浦波ハ右時刻以後敷波ニ代リ嚮向道ヲセヨ 但シ占位距離ハ現在ノ通トス</p>	<p>168機密第二二二〇三番電 168電令第七號 1949司令ハ敷波ヲ率キ十月二十五日迄ニJNニ回 航GKH電令第一三五號ニ依ルル及932ノ雷 爆撃訓練ニ協カスベシ</p>	<p>十六戰隊司令官ハ駆逐艦一隻ヲ十月二十五日 迄ニ「スラバヤ」ニ派遣セ五三空及九三三空ノ雷 爆撃訓練ニ協カセシムベシ</p>
	<p>、 號 信</p>	<p>、</p>	<p>電</p>

<p>16S 司令官 二三〇二四五</p>	<p>16S 司令官 二三〇二三七</p>	
<p>16S 二三〇二四五</p>	<p>16S 球磨艦長 二三〇二三七</p>	<p>16S 司令官 9347 953 932 202 各司令官 2108 22 24 各司令官 174 司令官 NSB 空廠長 五魚雷調整班</p>
<p>信令第一六四號 當地ニ於ケル警備配備ヲ 第四配備別 法 第二(本日配布)トス 但シ球磨ノ機関待機ハ別令ニ依ル</p>	<p>信令第一六三號 球磨ハ當地在泊中 十月一日迄 二四時間以 内ニ復飯可能ナル 範圍ニ於テ機関ノ整 備ヲ實施スベシ</p>	<p>二三航空戰隊及ニ南遣艦隊麾下航空隊、 高速航行艦ニ對スル 雷爆訓練ヲ實施 ニ參加部隊 ニ南遣艦隊司令部、二三航空戰隊 第一 九駆逐隊ノ一艦、一五魚雷調整班 南西方 面航空廠及ニ南遣艦隊長官、指定スル 麾下 三本訓練指導官ヲニ南遣艦隊長官ニ指定ス</p>
<p>〃</p>	<p>信 號</p>	<p>〃</p>



2180

<p>168 二三日一七一五 司令官</p>	<p>二三日一五三〇 大井 艦長</p>	<p>168 二三日一四二〇 司令官</p>
<p>大井北上艦長 168 司令官 10月12日 各司令官 9月23日 各司令官</p>	<p>168 司令官 168 司令官 168 司令官 936 司令官 288 司令官 1000 司令官 北上艦長 ブチヤギ ゲダン 陸軍</p>	<p>1907 司令官 168 司令官 168 司令官 733 司令官 732 司令官</p>
<p>168 機密第二三二七五番電 次回陸軍輸送ノ都合アリ北上大井ハEQニ於テ魚雷ヲ搭載スルコトナクESニ回航(直航)スベシ</p>	<p>大井機密第二三二五三番電 カーニョバル輸送任務終了 彼南着</p>	<p>168 機密第二三二四〇番電 168 電令第七號ヲ取消ス 司令官ハ浦波ヲシテ十月二十五日迄ニJIVニ回航 168 電令第一三五號ニ依ルセ五三空及九三三空 ノ雷爆撃訓練ニ協力セシムベシ</p>
<p>電</p>	<p>電</p>	<p>無</p>

<p>168 二四日一三。三 司令官</p>	<p>二四日。八。五 大井艦長</p>	<p>二三日。二。三五 大井艦長</p>
<p>168 二四日一四三。〇 参謀長</p>	<p>二四日一三。〇 168 司令官 168 各司令官 168 各司令官 168 司令官 北艦長</p>	<p>二四日。〇。五。〇 168 司令官 北艦長</p>
<p>168 機密第二四三。三番電 敷波八轉輪回維針儀故障ニ付昭南在泊中</p>	<p>大井機密第二四〇。八。五番電 本艦行動豫定左ノ通 二四日一〇。〇。EQ 弁 二。〇。〇。一尋礁通過 二十五日一三。〇。ES 着</p>	<p>大井機密第二三三。三。五番電 貴機密第二三三。三。五番電受領 本艦既ニ魚雷艦内へ取入濟ニ付明ニ二十四日 EQ 出 港ニ十五日 ES 入港直ニ陸揚格納ノコトニ御認許 ヲ得度 追テ EQ ニ於ケル魚雷預入状況ハ不完全ナル艀内 ニ積載ノ儘中棧橋ニ繫留シ置ク状況ニシテ 保存整備上極メテ不良不安ニシテ長期間放 置シ置ニ可ビザルナリ念ノ爲</p>

0819

<p>二五日一七四〇 16S 司令官</p>	<p>二四日一三〇七 16S 司令官</p>	<p>二五日〇九三五 浦波駆逐艦長</p>	
<p>昭南 ブチギ メダン 1200 2857 1000 各司令官</p>	<p>二四日一三〇七 114</p>	<p>二五日一三〇〇 16S 司令官 194 司令官 16S 司令官 194 司令官 16S 司令官 194 司令官 16S 司令官 194 司令官 16S 司令官 194 司令官</p>	<p>16S 参謀長 16S 工作部長</p>
<p>16S 機密第二五七四〇番電 北上「ポートブレイ」大井「カーニコバル」ニ対スル 陸軍輸送任務終了</p>	<p>信令第一六五號 敷波ハ當地在泊中轉輪羅針儀ノ修理ヲ 實施スベシ</p>	<p>浦波機密第二五〇九三五番電 「ヌラバヤ」着</p>	<p>之ガ修理ヲ實施セシム 修理ニ一週間ヲ要スル見込(二十六日ヨリ)</p>
<p>電 無</p>	<p>信 號</p>	<p>電 無</p>	

<p>GH 司令長官</p>	<p>二六日一二一五 16S 司令官</p>	
<p>二六日二〇一〇 GH 各司令長官 GH 各司令長官 1A 司令長官 横鎮長官 總長</p>	<p>GH 各司令長官 GH 1K 各司令長官 北上大井艦長 昭南 ガチキギ陸軍 ×ダ GH 司令長官 大海一部長 1207 10 28 St 各司令官 936 司令</p>	<p>GH 參謀長 大海一部長</p>
<p>GH 電令作第七七六號 丙作戦 AB 法敬言戒ヲ解ク</p>	<p>16S 機密第二六一二五番電 16S 電令作第五號 一、北上大井ハ先任艦長之ヲ指揮シ十月二十九日 發 GH 電令第二九號ニ依ル ES 1A 間陸兵 輸送ニ從事スベシ 二、右輸送任務終了後北上ハ EQ ニ寄可港魚雷搭 載ノ上 ES ニ回航スベシ 大井ハ ES ニ直行スベシ 三、輸送任務ニ從事中成シ得ル限航空部 隊ト聯合訓練ヲ實施スベシ</p>	

<p>二六日一六一。 16S司令官</p>	<p>二六日二四三 16S司令官</p>
<p>二六日一七四五 大臣總長 9KH 吳鎮長官 9KH 各長官 10KH 司令官 艦本總務部長 吳工廠長</p>	<p>昭南 グマナギ陸軍 ×ダ 北上艦長 大井艦長</p>
<p>16S機密第三六一六番電 鬼怒昭南着 一四三。</p>	<p>16S機密第二六二四三番電 當隊電令作第五號ニ依ル北上大井行動 豫定左ノ通對空對潛警戒ニ關シ可然配 慮ヲ得度 十月二十九日一五。昭南發 三十日。八。一尋 礁通過 十月二十九日一三。北緯二一度五。分 東經 九九度五八分 針路 三二五度 速力 二四節 三十日一三。北緯一。度 三六分 東經 九四度 四五分 針路 三二五度 速力 二四節</p>
<p>電 無</p>	<p>電 無</p>

<p>同日一九〇。グレア<sup>レ</sup>着揚陸終了次第發  (ニニ〇。填)</p> <p>十月一日一ニ〇。北緯九度八分。東經九五度  四五分。針路一四五度。速力ニ。節</p> <p>二日。三〇。北緯五度ニ七分。東經九八度  ニ。分ニテ分離</p> <p>一。北上二日一〇〇。彼南着。三日一〇〇。發</p> <p>同日二〇〇。一尋礁通過。四日一三〇。</p> <p>昭南着</p> <p>二。大井二日一三三。一尋礁通過。マラッカ  附近ニテ板泊。三日一三〇。昭南着</p>

軍機秘  
別紙第二

機密第十六戰隊命令第四一號

昭和十八年十月五日 ES 旗艦足柄

第十六戰隊司令官 左近允尚正

第十六戰隊命令

一 機密第十六戰隊司令第四一號ニ依ル SK 作業地ニ於ケル  
訓練ヲ警戒部隊第二期訓練ト呼稱ス

二 第二期訓練ニ於ケル訓練方針左ノ如シ

第一期訓練ニ於テ收穫セル諸教訓ヲ活用シ練度ヲ  
更ニ向上スルト共ニ第一期訓練ニ於テ及バザリシ点ヲ補  
足シ戦闘即應ノ自信ヲ得シムルニ在リ

三 主要訓練研究項目

第一期訓練ニ同シ

四 訓練実施上留意スベキ事項  
第一期訓練ニ準テズ  
但シ研究ハ必要最小限度ニ局限シ極力実施ノ演練ニ  
重点ヲ置ク

(終)



軍機秘  
別紙第三

機密第十六戰隊命令第四二號

昭和十八年十月五日 ES 旗艦足柄

第十六戰隊司令官 左近允尚正

第十六戰隊命令

機密第十六戰隊司令第四六號ニ依ル SK 作業地ニ於ケル  
敵警戒ニ関シ 左ノ通定ム

一 左ノ外 昭和十八年機密南西方部隊警戒戒部隊命令  
第六號ニ同シ

二 第十九駆逐隊司令ハ 駆逐艦一隻ヲ 輪番ニ指定シ  
日没時ヨリ日出時迄 左ノ要領ニ依リ 對潛警戒ニ任ゼシム  
ベシ

(1) 十二節三十分間待機

0280

1280

(四) 九三式探信儀ニ配員シ敵潜水艦ノ近接ヲ探知ス

(終)

機密別紙第四

機密南西方面部隊警戒部隊命令作第一號

昭和十八年十月十三日 現旗艦足柄

南西方面部隊警戒部隊指揮官 左近允尚正

南西方面部隊警戒部隊命令

一 北上及大井ハEQニ在リテ警戒ヲ待機スベシ

右待機中極ク魚雷ヲ調整スニ畢獨訓練ニ從事スベシ

二 C又ハD作戦用意アリタル場合北上及大井ハ令無クシテ速ニ

EQ出撃ヲ行フニ進出警戒ヲ待機スベシ

Y莫ヲ北緯八度東経九五度十一分トス

(終)

別紙第五

機安南西方面部隊警戒部隊命令第一三號

昭和十八年十月十三日 現 旗艦 足柄

南西方面部隊警戒部隊指揮官 互近允尚正

改 足柄艦長ニ命令

貴艦ハ機安南西方面部隊警戒部隊日令第六號ニ依ル行動中

「クダナイ」島ヨリ引イクトリアポイントニ至ル馬奈半島西岸地區ニ附近諸

島嶼ニ於ケル水陸航空基地適地ヲ調査シ報告スベシ

右報告書ニ於ル可ク航空偵察ヲ添付スルモノトス

報告書ハ四通トシ提出期日ヲ十月二十一日トス

(備考)

泊地附近調査ハ可及的線索ニ依リ行フモノトス

(終)

軍報新紙第六

機密南西方面部隊警戒部隊命令第一四號

昭和十八年十月十三日 段旗艦 足柄

南西方面部隊警戒部隊指揮官 左近允尚正

杉野球磨艦長ニ命令

貴艦機密南西方面部隊警戒部隊日令第六號ニ依ル行動中

左記泊地調査ヲ行フト共ニ防備計畫ヲ立案シ報告スベシ

報告書ハ四通トシ提出期日ヲ十月二十日トス

記

一 大和泊地及朝日泊地

二 フォレスト泊地

三 美保湾及龜島泊地

(終)

軍用紙第十

機密第十六戰隊命令第四八號

昭和十八年十月二十七日 ES 旗艦 足柄

第十六戰隊司令官 左近允 尚正

第十六戰隊命令

一 北上大井ハ當隊電令作第五號ニ依ル輸送任務終了後

ESニ歸投セバ中二日間補給整備並ニ休養ヲ

實施シタル後SK作業地ニ回航スベシ

二 右回航ノ際各聯管一本宛魚雷ヲ搭載スベシ

爾餘ノ魚雷ハ第一海軍軍需部ニ保管ヲ依頼スルモ

トス

(終)

別表第一 敵機来襲状況

(自十月三十一日)

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
カニヨバル																															
コタラシヤ																															
サバン																															
ポトゴア																															
ランゲン																															
スラバヤ																															
ワイグプ																															
イトン																															
ホマラ																															
クイパン																															
アンボン																															
カウ																															
マイコル																															
サムラキ																															
ケクワ																															
マクワリ																															

(註) 四...四發 双...双發 B...B-24 P...P-38 ?不明

0826

